

オキアミ調査速報

2月23日に県漁業調査指導船「みやしお」によるオキアミ魚探調査及び水温調査を実施しました。概要は以下のとおりです。

今回の調査では志津川以北に、底層を中心にオキアミの反応が見られる場所がありました(図1)。

オキアミは親潮の南下に伴い、まとまった群が形成され、漁場となります。現在、100m水深5℃を指標とする親潮第1分枝の先端は岩手県宮古沖10海里まで南下し、昨年よりも接岸していますが、強勢な三陸沖暖水塊に阻まれ潮境を形成しています。今回の調査海域は親潮の波及を十分に受けておらず、表層から100m層にかけて9~10℃台という高水温になっており(表1)、オキアミは主に底層に分布しています。

本報は「<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/mtsc/>」でも公開中です。次回の調査は、3月1日頃に予定しています。

調査ライン位置図

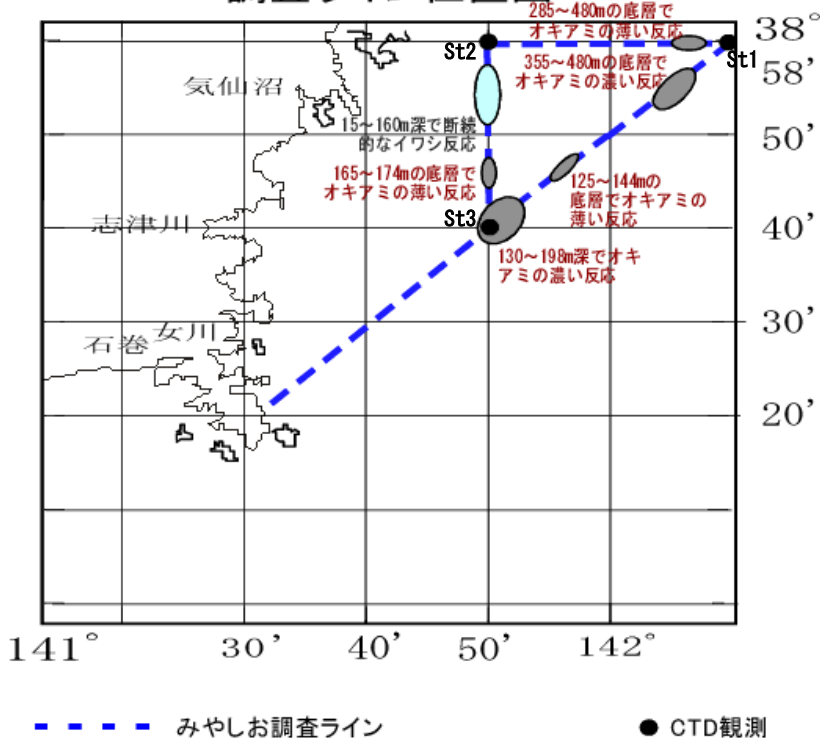


表1 CTD観測結果

CTD観測点	St.1	St.2	St.3	
月日	2018.2.23	2018.2.23	2018.2.23	
北緯	38° 58'	38° 58'	38° 40'	
東経	142° 10'	141° 50'	141° 50'	
水深(m)	257	120	187	
水温(°C)	0m	10.8	9.4	10.6
	10m	10.82	9.26	10.52
	20m	10.82	9.25	10.22
	30m	10.82	9.25	9.96
	40m	10.82	9.25	9.70
	50m	10.82	9.25	9.62
	75m	10.77	9.18	9.47
	100m	10.54	9.00	9.36
	125m	10.03		9.09
	150m	8.61		8.59
	175m	7.85		8.66
	200m	7.38		
250m	6.89			
海底	6.89(257m)	8.98(120m)	8.40(187m)	

図1 調査点図